



## 2017 G10 ポストン・ニューヨーク研修報告特集号！！

平成 29 年度のポストン・ニューヨーク研修が、8 月 18 日～8 月 25 日の日程で行われました。全行程を通して天候も安定しており、安全で充実した研修を行うことができました。今号では、この研修の一部をお伝えします。

## ① Prof. Bryan Moser's Workshop at MIT

世界的な活躍をされている MIT の Moser 教授から、濃密な内容の講義をいただきました。MIT の E51 号館で行われ、まさにゼミの講義のようでした。「globalization とはいったい何か」というテーマでさまざまな角度からお話をいただきました。「global というものを考える時には local が何かを考える必要がある」というお話は大変貴重なものでした。旅客機が実に多くの国々の技術の結集によって建造されているという事例などを交え、深い考察をする機会を与えてくださいました。このセッションの成功には、本校卒業生で日本ハーバードクラブの関成孝氏、そして MIT-Japan Program の Christine Pilcavage 氏のお力添えがありました。

講義のあとは、サンドイッチを食べながらリラックスしたムードで歓談し、MIT の学生 2 名の方にも参加していただいて、さまざまなお話をいただきました。その後は、キャンパスを案内していただき、学生生活などについてもお聞きしました。

## ② MIT's Plasma Science and Fusion Center (PSFC) (MIT プラズマ科学核融合センター)

これまでの研修にはなかった MIT の PSFC、「プラズマ科学核融合センター」の見学が実現しました。クリーンエネルギーの開発とその必要性についての説明を受けながら、具体的なメカニズムについてもじっくり説明をいただきました。ヘルメット着用が必須であり、緊張しながら研究施設の中までじっくり見学をさせていただきました。まさに、最先端の研究の最前線という雰囲気でした。この研究所から世界へとさまざまな研究成果が発信されているわけです。

## ③ Discussion in Sever Hall at Harvard University

ハーバード大学、ハーバード・ヤードにあるロマネスク様式建築の Sever Hall (セバー・ホール) の一室をお借りして、ハーバード生 3 名との交流が実現しました。歴史の重みを感じる空間で、じっくりと議論を深めることができました。ハーバード生の進学の理由、これからの目標などについて話し合い、スケールの大きな発想に刺激を受けました。3 つのグループに分かれ、ディスカッションを通して議論を深めました。ハーバード大学内での活動は極めて貴重なものとなりました。

その後、キャンパス内を案内してくださいました。在学生の方の協力で、今年は何と図書館の中へ！G10 初の経験となりました。まさに世界有数の図書館に足を踏み入れたわけです。貴重な経験となりました。いつものように図書館の前での記念撮影を終え、お約束のハーバード像を見て、そしてゴシック調のメモリアルホールなどを見学して、ハーバード大学を堪能しました。

## ④ Fieldwork in Boston

Boston では 3 グループに分かれて、自主研修を実施しました。フリーダム・トレイルを歩き、アメリカ史を体感したり、ボストン美術館を訪れたグループもあったようです。すべてのグループが自主研修を行ったのが、Boston Museum of Science「ボストン科学博物館」でした。生物学・人類学・天文学・宇宙科学・地球科学・コンピューターサイエンス・ナノテクノロジー・自然科学などバラエティーに富んだ分野の科学を学ぶ事ができる博物館です。体験型の博物館で、一日滞在しても見切れないほどの充実した展示がありました。

## ⑤ World Trade Center (WTC)

2001 年 9 月 11 日にアメリカで発生した同時多発テロ事件から 16 年。長い年月が経ったように思えますが、巻き込まれた人々の悲しみは続いています。現在の WTC には「National September 11 Memorial Museum」があり、さまざまな資料にあたることができますが、グローバル 10 の海外研修では、第 1 回目から、ボランティアの方々から実際に体験されたお話を聞いています。写真などを使って、克明に当時の状況などのお話を聞くうちに、平和の大切さを実感し、その実現に向けての思いが強くなります。

## ⑥ United Nations in New York

マンハッタンにある国際連合本部を見学しました。極めて厳重なセキュリティ・チェックがあり、緊張感した雰囲気でご入館しました。ガイドの方の丁寧な説明を聞きながら、安全保障会議の議場など、ニュースでよく目にする議場を回りました。館内には紛争の様子を伝える展示などがあり、平和について考えられるものでした。また、理事会議場ビルの西側のスペースには、日本国際連合協会から寄贈された平和の鐘が置かれていて、神社風の日本の建築物が建てられていました。



## ⑦ Federal Reserve Bank (FRB) on Wall Street

ウォール街にある連邦準備銀行を見学しました。パスポートの確認、厳しいセキュリティ・チェックの後、中に入ることができました。FRB の歴史やその機能、その課題等について説明を受けました。展示物にも金融関係の情報が豊富に示されていて勉強になるものでした。また、有名な地下の金塊金庫室も見学しました。金庫室内にある金塊を金網越しに見学しました。天井までの高さに積み上げられていて、圧倒されました。まさにアメリカの金融の中心地であり、ウォール街にはさまざまな国からの人々が働いていました。

## ⑧ Prof. Bryan Kazuo Tsuda Lecture at UNIS (国際連合国際学校)

UNIS では、津田和男教授によりご講義をいただきました。マンハッタンの東海岸、イーストリバーを見下ろす見晴らしの素晴らしい教室で行われました。同校では国際バカロレアによる教育も行われており、ディスカッションやプレゼンテーションを重視した教育活動が行われています。授業は英語で行われ、日本語を含めたさまざまな言語を専攻することができます。先生との講義も、自分の意見を書いて、意見交換をしながら行うもので、通常の授業とは異なった緊張感がありました。先生のこれまでの研究成果などもお話しいただきながら、3 時間ほどじっくりと Discussion を行いました。

## ⑨ **Presentation at the ASPEN Institute**

研修の集大成ともいえるアスペン研究所でのプレゼンテーションを最終日に行いました。**Christopher Dickey** 博士、**Shyama Venkateswar** 博士、**Linda Lehrer** 博士、3氏の前で、**ASPEN** 研究所のみなさんと問題についての提言を行いました。時間のない中で最大限の準備をした生徒た  
まだまだ改善の余地があるものの、説得力のあるものでした。**Expert** たちからも高い評価をいただきましたが、一方で鋭い指摘も数多くありました。提言におけるアイデアが実際に実施できるのか、といった実効性についての指摘などもあり、提言がさらに改善できる余地があることがわかりました。全体的にプレゼンテーションの評価は高く、今後の提言がさらに良くなることを期待するといったお言葉をいただきました。

発表者以外にも、パワーポイントで資料を作成したり、発表に合わせて映写したりなど、一人一人が役割をもちながらの発表でした。**Teamwork** がとても機能していたように思います。内容については、これまでの発表の中でも、具体性があり、より身近な視点での提言が行えた印象があります。

**近日中に2階の掲示スペースにG10海外研修関連の報告を張り出します。  
ぜひ、見てください！！**